

【飼料生産組織】（広島県三次市（広島県酪農業協同組合：みわTMRセンター））

- 広島県酪農業協同組合（以下、広酪）は、平成25年度強い農業づくり交付金を活用して、既存の飼料加工施設（2か所）を統合した「みわTMRセンター」の施設整備を行い、平成26年度から酪農家が求めるTMR※1の製造を開始。
- 県内の農業生産法人等との契約栽培により中山間地域の水田でWCS※2用稲を生産し、TMRの原材料の一部を輸入粗飼料からWCS用稲に置き換えることによりコスト抑制を図っている。
- 酪農家が良質な堆肥を耕種農家に供給することで、耕畜連携による資源循環の基盤が形成されている。
- 令和5年度末の組合員数90戸のうち44戸の酪農家に供給するとともに、WCS用稲の作付面積も212haまで拡大。
- 広酪は、「安くて良質なTMR飼料の組合員への供給」をモットーに飼料自給率の向上及び、近年の飼料価格の高騰による酪農家数の減少に抑制をかけている。
- また、広島県内はもとより、島根県、岡山県、山口県、香川県にまで供給エリアを拡大するなど、中国四国地域の酪農経営の持続的発展に寄与している。

供給体制

耕畜連携による資源循環



OTMRセンター 製品紹介

- ・WCS用稲専用品種（たちすずか、たちあやか）を混合。
- ・500kg又は400kgのキューブ型圧縮梱包により、高品質で嗜好性の良い発酵飼料。

製品名	嗜好性	WCS用稲割合	TMR用輸入粗飼料草種
広酪TMR20WCS	◎	20%	アルファルファ スーダン
	定番製品。夏場の乳脂肪率低下対策に最適。		
広酪TMR24WCS	◎	24%	アルファルファ スーダン
	新製品。WCS用稲の配合割合を増やしたことで「広酪TMR20WCS」の特徴を生かしつつ、低コスト化を実現。さらに、免疫力向上が期待できる「きのこ菌床粕」を配合。		
いねモロコシ®S70	◎	70%	スーダン
	トウモロコシサイレージの代替で利用可能。400kg/1梱包で、ほぐれやすい。		

○製造量(t)

平成26年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
9,164	14,071	13,335	13,766

最大製造量：64t/日

製造能力：約8t/時間

※1 TMR: Total Mixed Ration（粗飼料と濃厚飼料を混ぜ合わせた完全混合飼料）

※2 WCS: Whole Crop Silage（茎葉と子実を一緒に収穫してサイレージに調整した飼料）